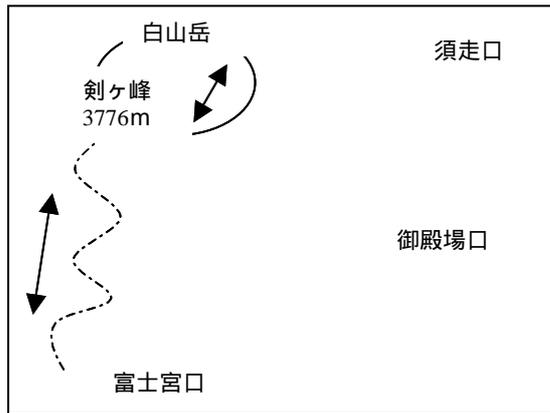


7 月度 <b>例会</b> <b>個人</b> 山行報告書		報告者	三浦巧高	参加 メンバー 11名	CL 藤田健治 渡辺勝利 吉川浩行 大矢康裕 大矢浩貴 岸上 薫 平野敏行 塚本英吾 油井 武 福井正信 三浦巧高
山 域	富士	山行日	06年 07月 29日(土) ~ 06年 07月 30日(日)		
山 名	富士山	山行目的	夜間登山	コースタイム(天候: 天気図記号)	

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



1/5万(昭文社)

7/29 曇 晴れ  
14:00 刈谷発  
18:00 富士宮登山口  
22:30 登山口発  
23:25 2695m

7/30 快晴 曇  
0:50 元祖七合目  
1:40 八合目  
3:15 九合目  
4:35 九合五勺  
5:45 頂上富士館  
8:17 出発  
8:50 九合目  
9:15 八合目  
11:40 富士宮登山口  
17:00 刈谷着

山行報告 私自身3回目の富士登山で初の夜間登山となった。今回は体が疲れました。何せ13時間と言う長丁場を歩きどうしの印象であった。5合目の駐車場で仮眠し、22時頃準備開始、出発直前に雨が降るがすぐに止んだ。その後の天気は、下山迄好天に恵まれた。出発直前に新入部員の私がライトを自転車(刈谷)に忘れ、あせったが塚本大先輩が予備のライトを貸してくださり無事出発。大矢さんの子息中学1年生の浩貴君も笑顔で足も軽かった。6合5勺手前で初の1本、最初は1本が何の意味が判らず、休憩である事を知りました、勉強勉強。ここから上りの傾斜もきつくなり始めた。何とか8合目へ到着、トイレ休憩(200円)するが、塚本先輩がここで体調不良、登頂断念!残りの10名で再び重い足を前に出し登るが、9合目近くになると眠気が襲ってくる。半分寝ながら上ったと記憶しています。突然、渡辺先輩が体の調子を崩しかけるが、デンソー山岳部の力がよみがえり、上り始めた。9合目を過ぎると富士山頂まで光の帯、上と下を眺めると1000人はいると言った感じ。ここからは、所々で渋滞。9合5勺付近では、辺りも明るくなり始め、御来光の朱の色が見えてきた。残念ながら斜面が影となり、御来光は望めなかったが雰囲気を感じて味わった。9合5勺から山頂までがきつい上り、見えているが中々到着しない!御日様が完全に昇りきった頃、山頂に到着(気温0)、コーンスープで一休み。日本一の雲海の素晴らしさを全員で満喫。30分後、剣ヶ峰迄行き、記念撮影。そこから引き返すと思ったら、火口周辺2.5kmを8名(大矢親子は別行動で早目に下山、8合目で合流)で周辺の壮大な景色を見ながら散策。皆さん

の健脚ぶりには脱帽!神社にお参り後、さあ下山、上りの2~3倍のスピードで8合目に到着。心配された塚本先輩も回復、大矢親子とも合流。おいしいスイカやみかんを先輩諸氏から頂戴!ご馳走様!駐車場目指し、出発。下りても下りても駐車場が見えない!そんな中、91歳の老婆と言葉を交す、2泊3日で下山中との事。老婆には負けられないと元気が出てきた。全員無事下山完了! 帰路、「湯の花」で山の汗を流し、昼ご飯を頂きながら、今日の成果を祝した。感謝!

リーダー所見 今夏は山岳部で富士登山計画が5件あり、今回は御殿場口から金本君も単独でトライしていた。13~68歳と幅広い年齢構成であったが、大矢君親子の触れ合いは見ていて気持ちのいいもので若い岳人の育成を楽しみにしたい。年間20万人位が登山するようであるが多国籍登山者と交わす挨拶もまた楽しいひと時であった。



下山中の8合目にて

確認  
(リーダー)

藤

06/08/09

田

作成  
(報告者)

三

06/08/08

浦